

15. 令和5年度大分県高等学校新人弓道競技大会実施要項

- 1 主 催 大分県高等学校体育連盟
- 2 期 日 令和 5 年 10 月 7 日 (土) 8 : 30 ~ 監督会議
9 : 20 ~ 開会式
9 : 40 ~ 団体戦予選(4矢1立、1手1立)
14 : 40 ~ 個人戦予選・決勝
16 : 50 ~ 終了式(個人戦表彰式)
10 月 8 日 (日) 8 : 30 ~ 監督会議
9 : 00 ~ 開始式
9 : 20 ~ 団体戦予選(4矢1立)
13 : 00 ~ 団体決勝トーナメント
15 : 00 ~ 閉会式(団体表彰式)
- 3 場 所 大洲総合運動公園弓道場(大分市青葉町) TEL 097-551-2110
※監督会議は同会場の射場で行う。
- 4 競 技 規 則 (公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び(公財)全日本弓道連盟競技規則による。
- 5 競 技 方 法 (1)種別は、①近的・立射 ②男女別 ③団体競技・個人競技 とする。
(2)団体競技について(予選)
ア. 女子・男子の順に、4矢2立・1手1立(チーム合計50射)を行う。
イ. 2チーム同時に行射(チームは順立)する。
ウ. 総的中数上位8チームを予選通過とする。同中のため8チームを超えるときは、各自1本の競射により8チームに絞る。
エ. 1チームの行射時間は、6分30秒以内とし、それ以降離れた矢は失格とする。
(行射時間=「始め」の合図から最後の射手の「離れ」まで)なお、弦切れの場合は跪坐して待ち、以後の射手は替弦を待たずに順次行射する。一巡したら順立に戻る。
オ. 制限時間はブザーにより、次の要領で合図する。《30秒前(6分)…短く 終了(6分30秒)…長く》
(3)団体競技について(決勝トーナメント)
ア. トーナメント方式で各自4射・チーム計20射を行う。
イ. 予選的中数により1位~8位を決定する。予選成績が同中の場合は、抽選により順位を割り当てる。
対戦順1回戦4試合は、次のとおりとする。
1位対8位、5位対4位、3位対6位、7位対2位
ウ. 対戦するチームが同時に行射(チームは順立)する。射終わったら本座に戻り、判定の発声の後退場する。同中の場合は、各自1本の競射を行い、勝敗を決定する。競射1本目は替矢を使用する。
エ. 決勝戦の前に、1手競射による3位決定戦を行う。
(4)個人戦について
ア. 九州新人大会の予選を兼ねる。(10人立ち)
イ. 予選は、女子、男子の順に各自4射を行い、3中以上を準決勝進出とする。
ウ. 準決勝も、女子、男子の順に各自4射を行い、3中以上を決勝進出とする。
エ. 決勝は、各自1本による、射詰競射を行い、4位まで決定する。
1位決定は射詰めで行い、他の順位決定は、遠近法により決定する。
オ. 予選・準決勝・決勝とも、射場ごとの順立ちとする。
- 6 参 加 資 格 「令和5年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 7 参 加 制 限 (1)団体競技
ア. 1校男女とも1チームとする。
イ. チーム編成は、監督1名・選手3名~5名、補欠2名の計4~8名とする。
選手3名以上を団体扱いとする。
ウ. 選手の交代について
Ⅰ 申込書に記載した、登録選手以外は認めない。
Ⅱ 交代は1日2回までできる。ただし、招集の30分前までに届け出ること。
Ⅲ 登録補欠1名の場合は、1回につき1名。登録補欠2名の場合は2名以内とする(2名同時に交代できる)。交代した選手の再出場は認める。

- IV 選手の交代によりゼッケンを替えてはならない。
- V 届け出は所定の用紙(本部準備)を用い、監督・監督代行職員が提出すること。
- VI 立順を変更することは認めない。ただし、2度の交代によって結果的に立順が変わることはやむを得ないものとする。
- VII (i) 団体予選終了後に選手の交代は一度リセットされる(参加申し込み登録順に戻る)。
(ii) 2日目のトーナメント戦では、全試合、試合ごとにリセットされるので、登録選手と登録補欠選手との交代のみ認める(立順が入れ替わることはない)。
- VIII 決勝進出を決定する同中競射での選手の交代は認めない(予選最終時での立順となる)。

(2)個人戦

個人戦出場資格は、支部予選において男子8射5中、女子8射4中以上の申し込者。

8 参加申込

- (1)方法 申込用紙は高体連ホームページから入手し、下記により期限内に行う。
ア. 様式により作成し、1部印刷・捺印して大会初日当日朝本部へ提出する。
イ. 校長の承認を得た申込電子データは、メールで送信する。(ファイル名:競技名/校名/監督名)

(2)宛先 〒870-8658 大分市千代町2丁目4-4 大分東明高等学校内
弓道専門部事務局 後藤 裕介 宛
メールアドレス goto-yusuke@oita-tomei.jp <データ受付期間: 10月2日(月) 13:00 必着 >

9 参加負担金

選手(補欠を含むエントリー)1人につき 加盟校600円・非加盟校1000円。大会当日の受付で納入する。

10 出場権の獲得

○男女とも団体戦1~3位の高校及び個人戦1~3位の者に、九州新人大会(長崎県島原市)の出場資格を与える。

11 組合抽選

第2回専門委員会 令和 5年 10月 3日 (火) 10時~ 大分商業高等学校
※立順は、専門委員会において抽選基準に基づいて厳正に抽選する。

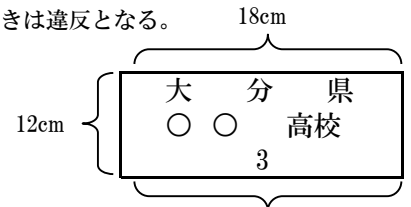
12 連絡事項

- (1)ア. 弓道着又はユニフォーム(肩線の無いシャツ、校服のズボン・スカート、白靴下)とする。
イ. 弓道衣・袴・足袋は単色無地とする。ただし、各学校で統一すること。
ウ. アンダーシャツは、白・黒・紺の単色無地とし、それ以外の色を使用する場合は各学校で統一すること。襟付き・ハイネックは不可とする。
エ. 鉢巻を使用する場合は、無地で長さは肩までとする。なお、校名・校章・氏名・番号に限り入れてもよいが、場所は鉢巻きの端とする。
オ. 胸当ては無地とし、校名・校章・氏名その他を入れてはならない。男子の胸当ての使用は認めないが、道着の下に装着することまでは認めない。
カ. サポーターの使用は肘のみ認める。色は、白・黒・紺・ベージュで無地のみとする。
キ. リボン・ピアス等の装身具類は着用してはならない。
ク. 髪をはらうことによる事故防止のため、髪が肩にかかる場合は結ぶ。髪が右のほほにかかる場合は耳にかけさせる。ヘアピンを使用する場合は、華美ではなく数量も最小限にとどめる。
ケ. ゼッケンは、右腰前につける。ただし、ゼッケンの左端が体の中央になるようにする。選手の交代により、ゼッケンを付け替えてはならない。布地は白で、件名と学校名は黒、番号は男子が黒、女子は赤で記入する。なお、サイズは全国大会の形に合わせる。
コ. 腕や手などへの書き込み、道着の袖まくり、足袋裏への水吹きは違反となる。

(2)弓具・服装の点検を行い、違反選手には行射させない。

(3)呼び出しに絶えず気を配ること。

点検に遅れる等して、第一控「起立」の号令に間に合わなかった者は失格である。



(4)選手は大会競技規則を熟知し、違反のないように競技に臨むこと。

イ. 矢番え動作後、筈から弦が離れた場合「管ごぼれ」となり、その矢は失格である。

ウ. 監督は道場内の選手に、発声又は動作で合図やアドバイスをしてはならない。選手も同様である。

(5)事故防止に最善を尽くさなくてはならない。そのため指示された危険区域(矢取り道・看的所横等)

には立ち入らない。応援者も競技運営に整然とした態度で臨む等、協力すること。

(6)選手宣誓は、前年度女子優勝校の別府鶴見丘高校とする。

(7)各支部長は、支部予選大会後直ちに、大会結果報告書を専門委員長に提出すること。

(8)立順は、専門委員会において抽選基準に基づいて厳正に抽選する。

(9)試合日の競技開始前の前練習はできない。

(10)台風等の荒天の場合は、日程を変更する可能性がある。